

■ 9. 28 災害、被害状況

人	死者	1人
	重軽傷	1人
家屋	半壊	4戸
	床上浸水	1,565戸
	床下浸水	107戸
農林業	農業被害	82,301千円
	林業被害	1,068千円
商工業	中小企業被害	1,032件 7,197,728千円
	その他の事業所	226件 2,675,970千円

そのほか、市役所、中央公民館、図書館など被害大



中央公民館から南東方向を見る



泥にまみれた家財の山（太田本町4丁目）

災害のことを調べています

太田小学校の4年生は、総合的な学習時間『大いちょうタイム』で、「木曽川オンライン」をテーマに学習しています。

その中で「木曽川の脅威」ということで、水害について調べている児童の皆さんに話を伺いました。



▲写真左から丹羽さん、高木さん、上野さん、川島さん

高木 咲希さん 「木曽川から水があふれないようにどのような工夫がしてあるか調べたいです。」

上野 莉子さん 「水害は怖いこともあるし、いろいろなものが壊れ、次の日から不便になると感じました。」

川島 早也香さん 「道路が川のように流れていたの、なかなか避難できなかったということを聞きました。」

丹羽 泉帆さん 「どうしてこんなことになったのか、いろいろな人から話を聞きたいです。」

災害を経験した人

水と一緒に浮いてきたお母さんを救助

当日、招集がかかったのは午後3時ぐらいだったと思います。川の様子を見に行くと、水がかなり増えてきており、水面がかまぼこ状になって流れていました。

水は午後6時ごろからあふれ出しってきましたが、とにかく水かさ上がるスピードが速かったです。中山道では、水が波を打って川のように流れていました。

船を使って、取り残された住民の救助にあたりましたが、一番印象に残っていることは、流されないように体をロープで縛り、泳いで住宅の屋根に上がり、屋根を破って天井裏にいた娘さんを救助し、さらに天井を破って水と一緒に浮いてきたお母さんを救助したことです。

救助作業中は、無我夢中で作業を行っていたので、怖さを感じることはなかったです。

これだけの災害で一人しか亡くならなかったというのは、事前に避難したのが多かったことと、慌てて動かないで、2階でじっとしている人が多かったからだと思います。また、私たちの力が、少しでも被害者の減少に貢献できたとすれば、幸いに思います。



▲林 逸美さん（深田町）は、災害当時消防団第1分団長として、救助活動に携われました。